

5. おほない しずくいしかいどう くにみとうげごえ 生保内・雫石街道—国見峠越

選定箇所：国見峠（岩手県雫石町、秋田県仙北市）

概要：江戸時代に、全国五街道のひとつである奥州街道の脇街道として整備され、「秋田街道」とも呼ばれた。盛岡と久保田（秋田）を結ぶ最短路で、幕府の巡見使の見分路線、御馬買衆の通路、両藩の物資の輸送、連絡道としても利用された。両藩を隔てる奥羽山脈に国見峠があり、丸一日かけて峠を越えるという大変な難所だった。現在でも、堀割道その他、藩境を示す石柱や物流拠点ともなったお助け小屋の跡地、一里塚など、往時を偲ぼせる数々の貴重な遺構がそのまま残っている。



【写真提供：雫石町教育委員会】